

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) ートリプルリターンズー

日本円・コース (毎月分配型)

豪ドル・コース (毎月分配型)

ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

米ドル・コース (毎月分配型)

第144期 (決算日 2023年10月10日)

第145期 (決算日 2023年11月7日)

第146期 (決算日 2023年12月7日)

第147期 (決算日 2024年1月9日)

第148期 (決算日 2024年2月7日)

第149期 (決算日 2024年3月7日)

通貨セレクト・コース (毎月分配型)

第124期 (決算日 2023年10月10日)

第125期 (決算日 2023年11月7日)

第126期 (決算日 2023年12月7日)

第127期 (決算日 2024年1月9日)

第128期 (決算日 2024年2月7日)

第129期 (決算日 2024年3月7日)

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3834>

<3835>

<3836>

<3837>

<5763>

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) ートリプルリターンズー 日本円・コース (毎月分配型)

&lt;3834&gt;

追加型投信／海外／株式  
日経新聞掲載名：米国株α円

第144期	2023年10月10日決算	第147期	2024年1月9日決算
第145期	2023年11月7日決算	第148期	2024年2月7日決算
第146期	2023年12月7日決算	第149期	2024年3月7日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第149期末	基準価額	6,263円
	純資産総額	264百万円
第144期～第149期	騰落率	3.0%
	分配金合計	210円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

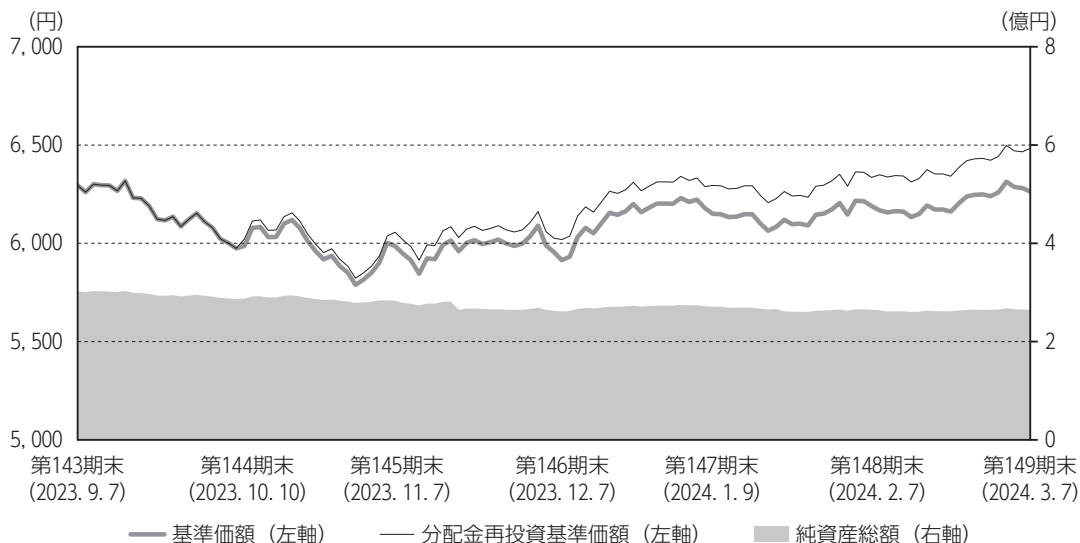
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第144期首：6,295円

第149期末：6,263円（既払分配金210円）

騰落率：3.0%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました（分配金再投資ベース）。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」については、米国株式市況が上昇したことがプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0. 669%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は6, 101円です。</b>
（投 信 会 社）	(13)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(27)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	41	0. 673	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

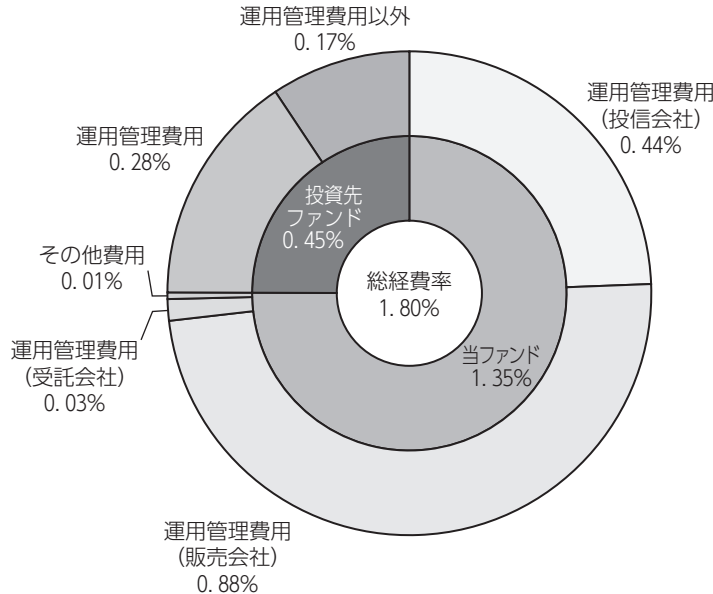
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.80%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.28%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.17%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

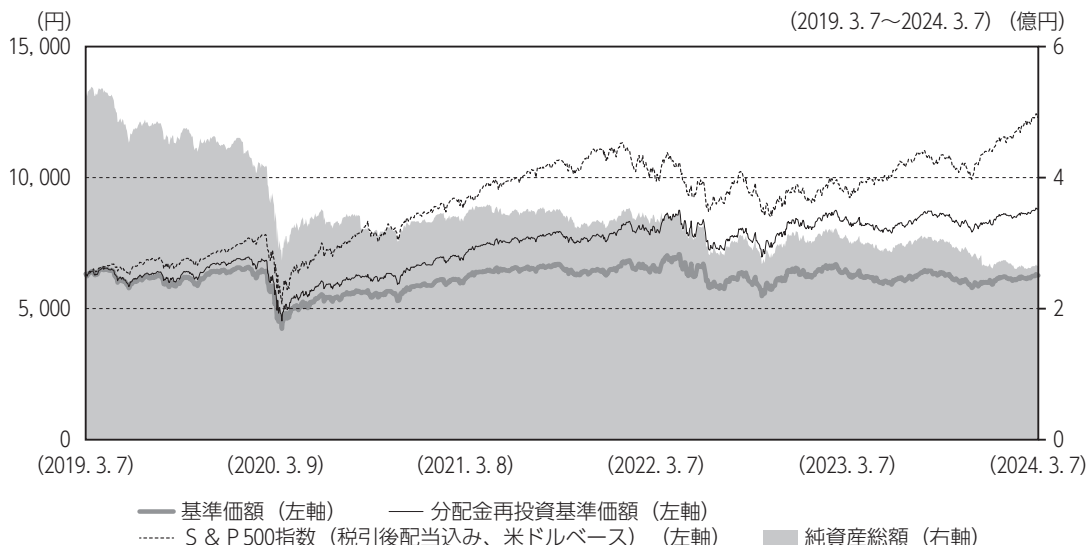
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年3月7日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は S & P 500 指数（税引後配当込み、米ドルベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年3月7日 期初	2020年3月9日 決算日	2021年3月8日 決算日	2022年3月7日 決算日	2023年3月7日 決算日	2024年3月7日 決算日
基準価額 (円)	6,327	5,588	6,064	6,580	6,462	6,263
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	420	420	420	420	420
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△5.5	17.0	15.7	5.0	3.8
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	8.7	30.8	13.8	△5.4	27.5
純資産総額 (百万円)	531	358	338	339	311	264

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、同指数の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 短期金利市況

日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の枠組みを継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF Fレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5.25～5.50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

引き続き、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーU Sストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### 当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

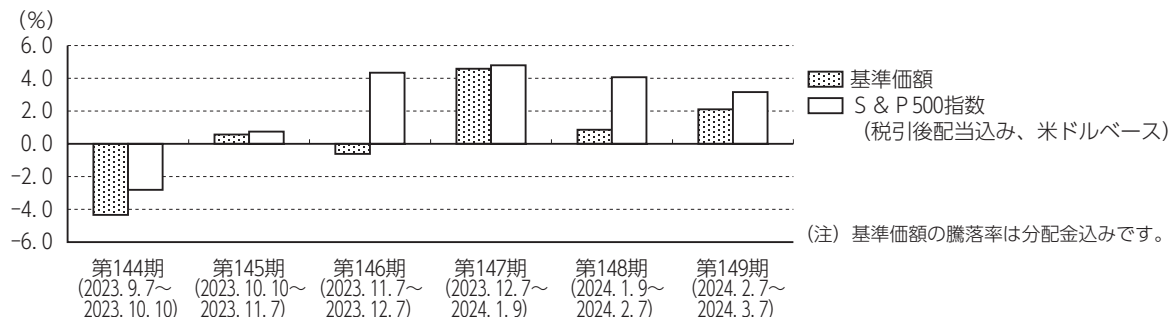
### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。





## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>	<b>35</b>
対基準価額比率 (%)	0.58	0.58	0.59	0.57	0.56	0.56
当期の収益 (円)	23	16	19	29	17	25
当期の収益以外 (円)	11	18	15	5	17	9
翌期繰越分配対象額 (円)	505	486	471	465	447	438

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に一致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 23.13円	✓ 16.04円	✓ 19.73円	✓ 29.49円	✓ 17.14円	✓ 25.74円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	247.21	247.87	248.33	248.75	249.15	249.53
(d) 分配準備積立金	✓ 270.18	✓ 257.66	✓ 238.25	✓ 222.57	✓ 216.67	✓ 198.44
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	540.53	521.58	506.31	500.82	482.96	473.71
(f) 分配金	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00	35.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	505.53	486.58	471.31	465.82	447.96	438.71

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄と異なる場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



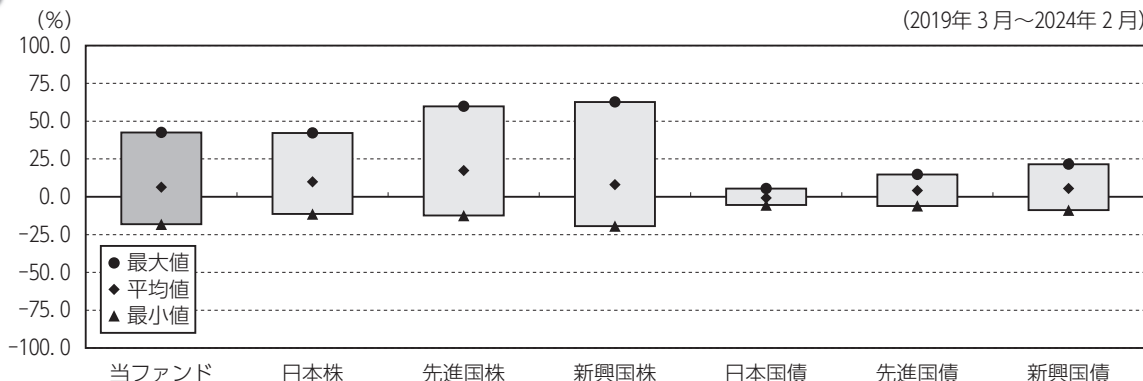
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年9月22日～2026年9月7日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」（以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 日本円・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.6	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
平均値	6.3	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6
最小値	△ 18.1	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用効果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



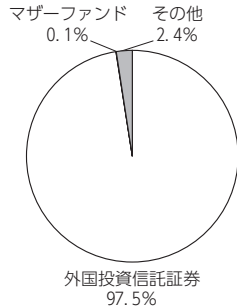
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

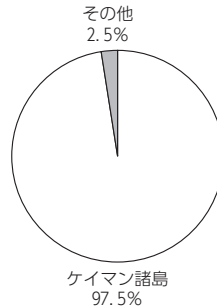
### 組入ファンド等

	比率
クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）	97.5%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.1
その他	2.4

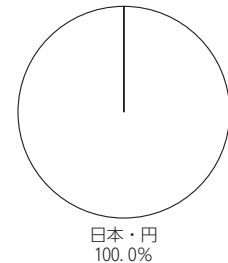
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年3月7日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2023年10月10日	2023年11月7日	2023年12月7日	2024年1月9日	2024年2月7日	2024年3月7日
純資産総額	287,251,795円	283,248,456円	261,010,843円	270,726,170円	263,761,917円	264,635,741円
受益権総口数	479,792,780口	473,213,147口	441,341,828口	440,221,965口	427,627,578口	422,532,244口
1万口当り基準価額	5,987円	5,986円	5,914円	6,150円	6,168円	6,263円

\*当作成期間（第144期～第149期）中における追加設定元本額は5,625,432円、同解約元本額は62,824,797円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

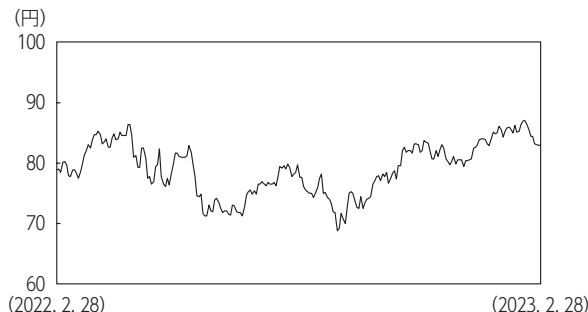
## 組入上位ファンドの概要

### ◆クロッキーUSストラテジー・ファンド（日本円・クラス）

（作成対象期間 2022年3月1日～2023年2月28日）

※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当りの費用の明細

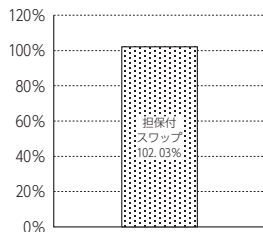
当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■実質組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
VALERO ENERGY CORP	米ドル	2.6%
PHILLIPS 66	米ドル	2.6
MARATHON PETROLEUM CORP	米ドル	2.6
DEVON ENERGY CORP	米ドル	2.6
ABBVIE INC	米ドル	2.6
CONOCOPHILLIPS	米ドル	2.6
REGENERON PHARMACEUTICALS	米ドル	2.6
ONEOK INC	米ドル	2.6
CHEVRON CORP	米ドル	2.5
MERCK & CO. INC.	米ドル	2.5
組入銘柄数	40銘柄	

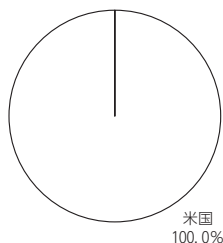
(注1) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。  
(注2) 比率は株式のポートフォリオに対する比率です。  
(注3) 上記データは2023年2月28日の前営業日時点のものです。

#### ■資産別配分



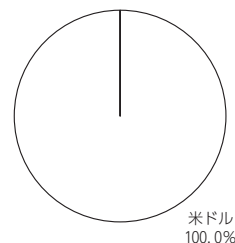
(注1) 比率は純資産に対する比率です。  
(注2) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

#### ■国別配分



(注) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米国株式であることを意味しております。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米ドル建てであることを意味しております。  
(注2) ファンドの保有資産に対して、米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行っています。

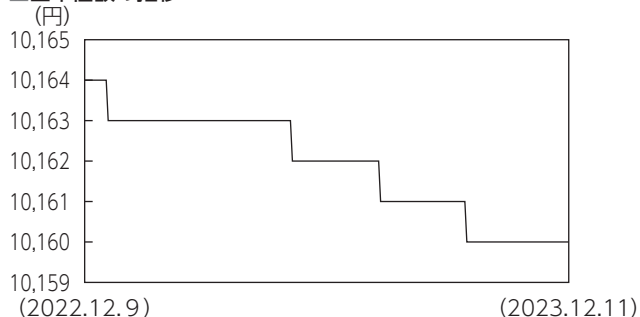
\*資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

項	目	
売買委託手数料		-円
有価証券取引税		-
その他費用		-
合	計	-

■組入資産

2023年12月11日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものであります。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) ートリプルリターンズー 豪ドル・コース (毎月分配型)

&lt;3835&gt;

追加型投信／海外／株式  
日経新聞掲載名：米国株α豪

第144期	2023年10月10日決算	第147期	2024年1月9日決算
第145期	2023年11月7日決算	第148期	2024年2月7日決算
第146期	2023年12月7日決算	第149期	2024年3月7日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第149期末	基準価額	4,948円
	純資産総額	772百万円
第144期～第149期	騰落率	9.7%
	分配金合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

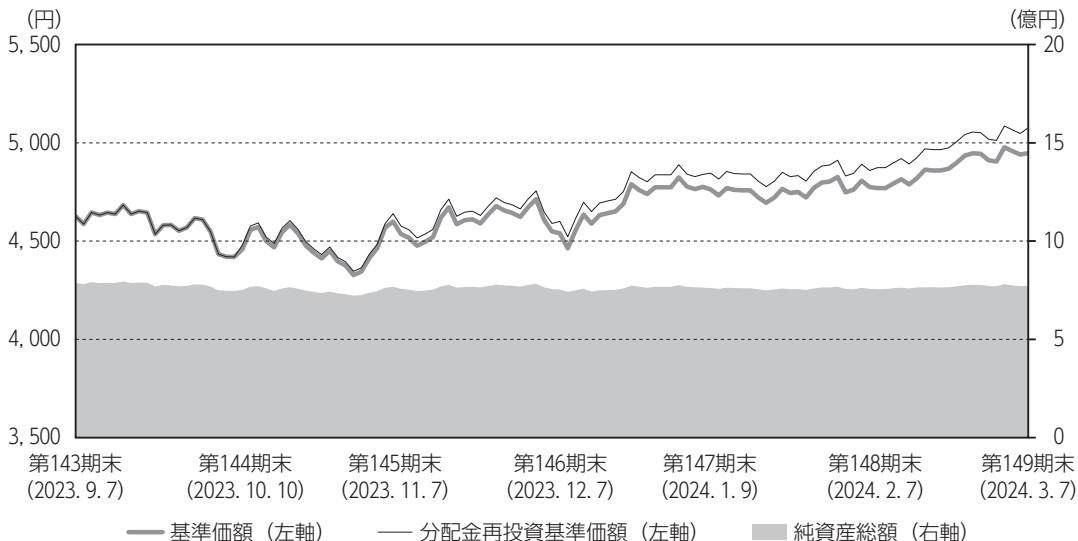
上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択





## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第144期首：4,626円

第149期末：4,948円（既払分配金120円）

騰落率：9.7%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」については、米国株式市況が上昇したことや豪ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）：オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は4,666円です。
（投 信 会 社）	(10)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(20)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	31	0.672	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

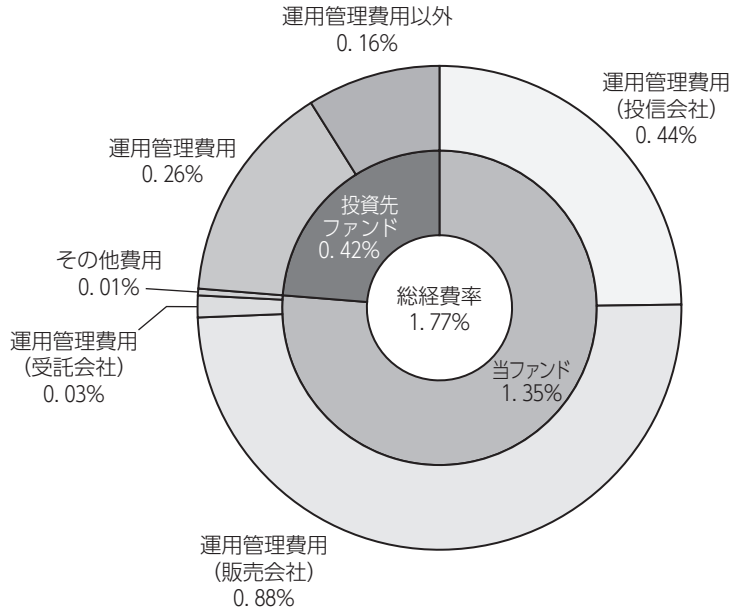
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

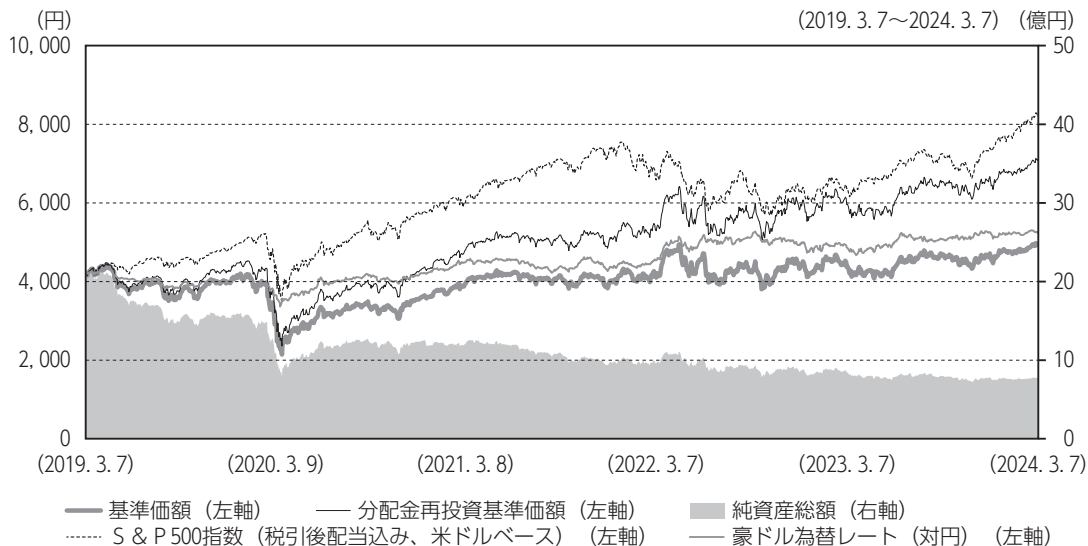
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年3月7日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)、豪ドル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年3月7日 期初	2020年3月9日 決算日	2021年3月8日 決算日	2022年3月7日 決算日	2023年3月7日 決算日	2024年3月7日 決算日
基準価額 (円)	4,217	3,230	3,874	4,207	4,484	4,948
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	375	330	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△15.7	32.6	15.1	12.6	16.3
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	8.7	30.8	13.8	△5.4	27.5
豪ドル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△14.1	23.9	1.7	7.8	6.9
純資産総額 (百万円)	2,086	1,193	1,188	981	863	772

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、同指数の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

豪ドル為替相場は、対円で上昇しました。

豪ドル対円為替相場は、当作成期首から2023年10月にかけて、オーストラリアの長期金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇傾向となりました。11月は、各国での長期金利低下による投資家のリスク選好姿勢の高まりを受け、対円で上昇しました。12月は、オーストラリアの長期金利の低下を背景に日豪金利差の縮小が意識され、対円で下落（円高）しました。2024年1月は、オーストラリアで長期金利が上昇したものの、日本の長期金利も上昇傾向となったことなどから、対円でおおむね横ばいでの推移となりました。2月から当作成期末にかけては、日銀副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しだと発言した一方で、R B A（オーストラリア準備銀行）は追加利上げの可能性を残したことなどから内外金利差が拡大した状況の継続が意識され、豪ドル円は上昇しました。

### ■ 短期金利市況

オーストラリアの短期金利は、R B A（オーストラリア準備銀行）が政策金利を4.35%に引き上げました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5.25~5.50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2023. 9. 8～2024. 3. 7）

### ■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行いました。

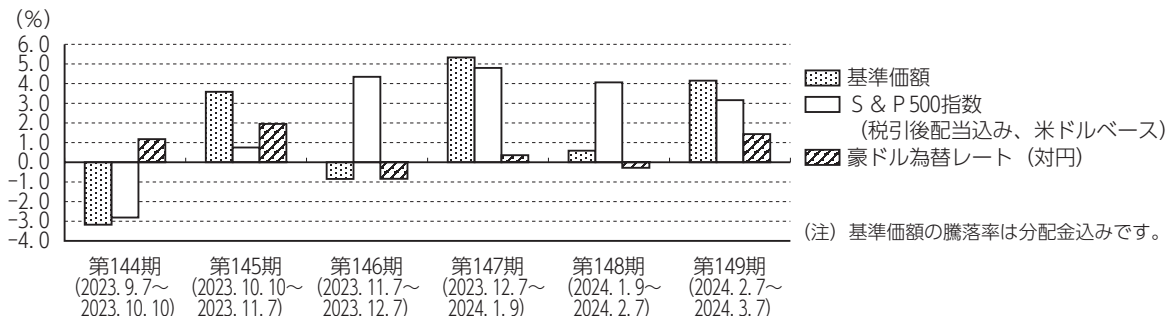
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率（%）	0.45	0.43	0.44	0.42	0.42	0.40
当期の収益（円）	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	621	632	641	658	666	682

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.79円	✓ 31.38円	✓ 28.41円	✓ 36.97円	✓ 28.42円	✓ 35.37円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	203.16	203.45	205.66	205.89	206.16	206.40
(d) 分配準備積立金	407.47	417.99	427.17	435.36	452.06	460.25
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	641.43	652.83	661.25	678.22	686.65	702.03
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	621.43	632.83	641.25	658.22	666.65	682.03

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を活用して、豪ドルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。





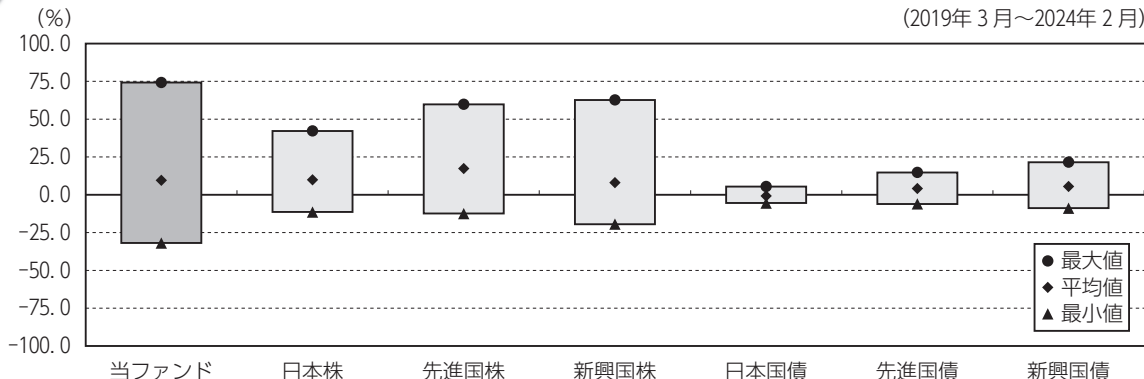
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年9月22日～2026年9月7日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラストークロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」（以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 豪ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	74.2	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
平均値	9.5	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6
最小値	△ 31.9	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



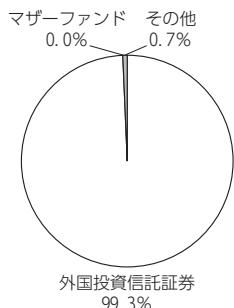
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

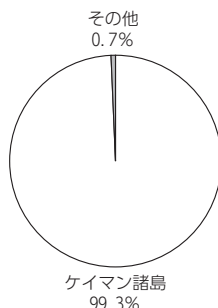
### 組入ファンド等

	比率
クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）	99.3%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	0.7

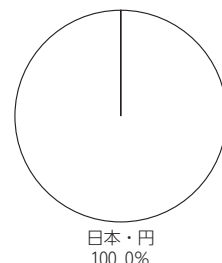
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年3月7日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2023年10月10日	2023年11月7日	2023年12月7日	2024年1月9日	2024年2月7日	2024年3月7日
純資産総額	751,539,409円	767,020,970円	753,448,213円	761,377,853円	755,957,871円	772,449,553円
受益権総口数	1,685,316,447口	1,667,724,095口	1,659,631,538口	1,598,826,326口	1,584,743,339口	1,561,151,138口
1万口当り基準価額	4,459円	4,599円	4,540円	4,762円	4,770円	4,948円

\* 当作成期間（第144期～第149期）中における追加設定元本額は13,435,204円、同解約元本額は154,688,778円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

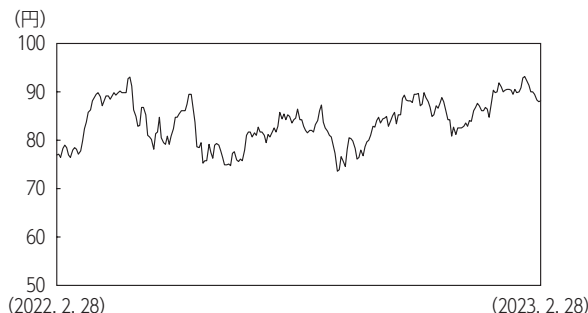
## 組入上位ファンドの概要

### ◆クロッキーUSストラテジー・ファンド（豪ドル・クラス）

（作成対象期間 2022年3月1日～2023年2月28日）

※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当りの費用の明細

当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■実質組入上位銘柄

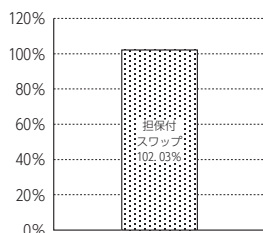
銘柄名	通貨	比率
VALERO ENERGY CORP	米ドル	2.6%
PHILLIPS 66	米ドル	2.6
MARATHON PETROLEUM CORP	米ドル	2.6
DEVON ENERGY CORP	米ドル	2.6
ABBVIE INC	米ドル	2.6
CONOCOPHILLIPS	米ドル	2.6
REGENERON PHARMACEUTICALS	米ドル	2.6
ONEOK INC	米ドル	2.6
CHEVRON CORP	米ドル	2.5
MERCK & CO. INC.	米ドル	2.5
組入銘柄数		40銘柄

(注1) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

(注2) 比率は株式のポートフォリオに対する比率です。

(注3) 上記データは2023年2月28日の前営業日時点のものです。

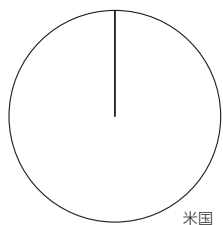
#### ■資産別配分



(注1) 比率は純資産に対する比率です。

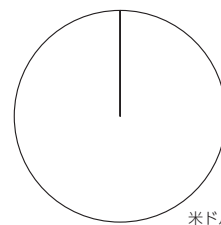
(注2) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

#### ■国別配分



(注) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米国株式であることを意味しております。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米ドル建てであることを意味しております。

(注2) ファンドの保有資産に対して、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行っています。

\* 資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

14ページをご参照ください。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) ートリプルリターンズー ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)

&lt;3836&gt;

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：米国株αレア

第144期	2023年10月10日決算	第147期	2024年1月9日決算
第145期	2023年11月7日決算	第148期	2024年2月7日決算
第146期	2023年12月7日決算	第149期	2024年3月7日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第149期末	基準価額	2,539円
	純資産総額	14,370百万円
第144期～第149期	騰落率	9.9%
	分配金合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

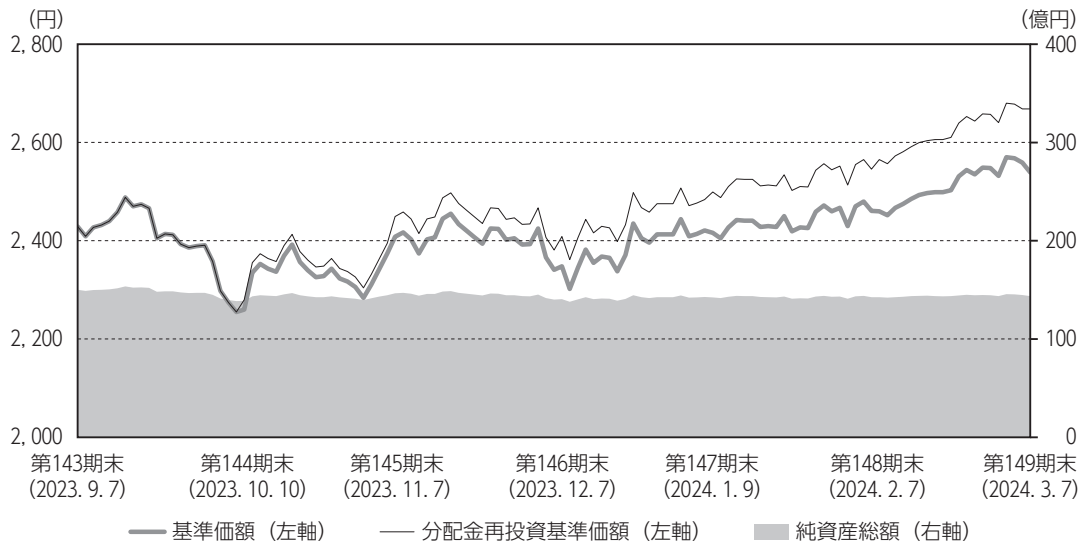
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第144期首：2,429円

第149期末：2,539円（既払分配金120円）

騰落率：9.9%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」については、米国株式市況の上昇やブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）：オージェンタム・トラストクロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	16円	0.666%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は2,415円です。</b>
(投 信 会 社)	(5)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(11)	(0.436)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.012)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.002	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	16	0.668	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

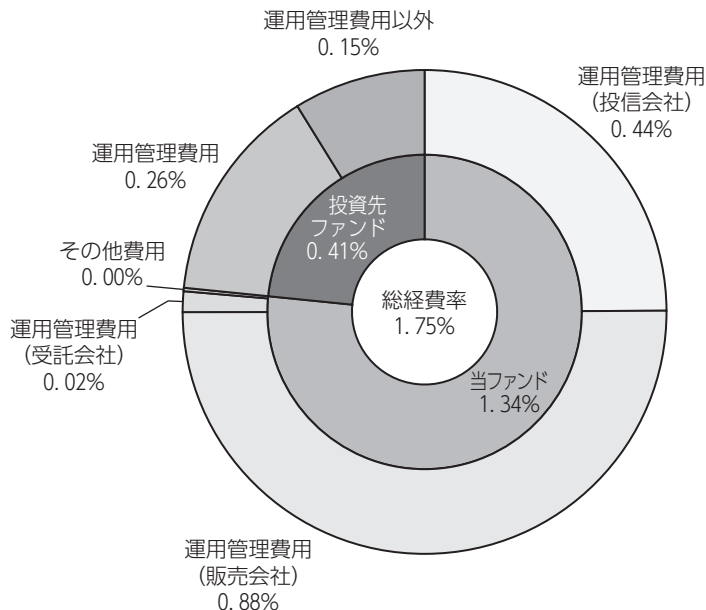
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

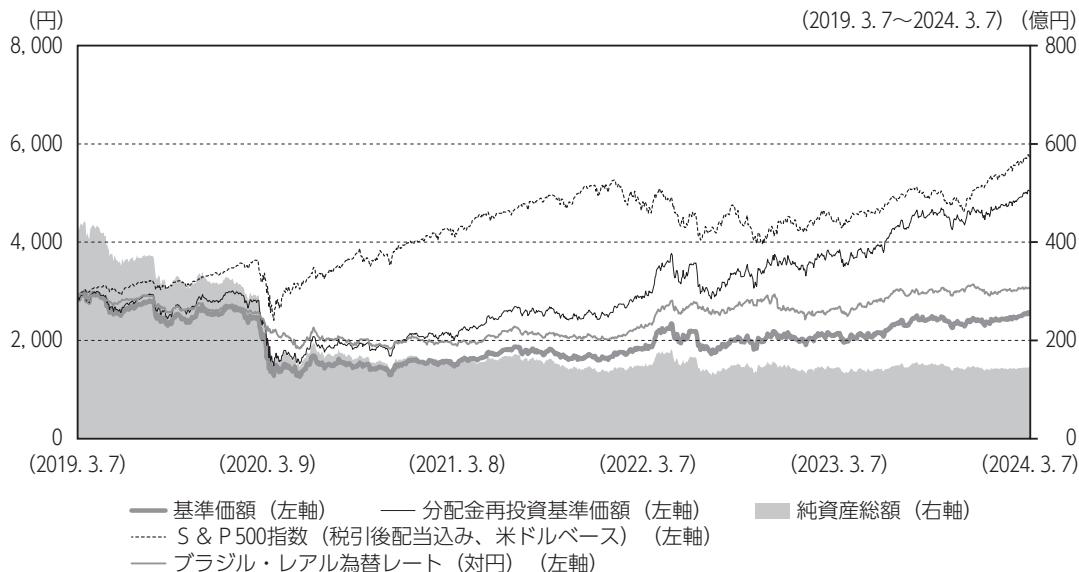
(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。



## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年3月7日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)、ブラジル・リアル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年3月7日 期初	2020年3月9日 決算日	2021年3月8日 決算日	2022年3月7日 決算日	2023年3月7日 決算日	2024年3月7日 決算日
基準価額 (円)	2,940	1,887	1,510	1,854	2,136	2,539
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	375	270	240	240	240
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△25.6	△4.3	41.1	29.6	31.8
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	8.7	30.8	13.8	△5.4	27.5
ブラジル・リアル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△24.2	△13.6	19.1	16.2	14.2
純資産総額 (百万円)	44,116	22,140	15,101	14,908	14,484	14,370

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、同指数の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2023. 9. 8～2024. 3. 7）

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

ブラジル・リアル為替相場は、対円で上昇しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当作成期首から2023年11月半ばにかけて、米国の金融引き締め観測から米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大により円安米ドル高が進行したことや、ブラジルの財政健全化期待が高まったことなどから、上昇しました。しかしその後は、日銀がマイナス金利を早期に解除するとの思惑から円高が進行し、ブラジル・リアルは対円で下落（円高）しました。2024年に入ってから、中国景気回復への期待や原油価格が上昇したことなどから、当作成期末にかけてブラジル・リアルは対円で上昇しました。

### ■ 短期金利市況

ブラジルの短期金利は、ブラジル中央銀行が政策金利を11.25%に引き下げました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5.25～5.50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)」への投資割合を高位に維持しました。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S (世界産業分類基準)の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行いました。

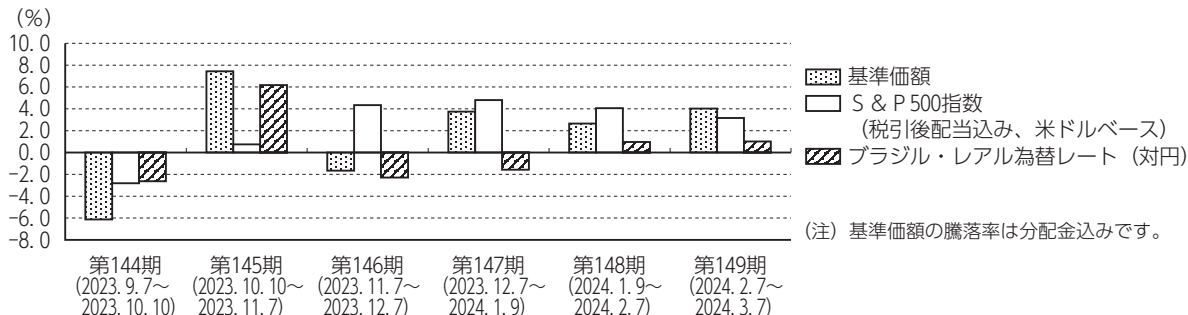
### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>	<b>20</b>
対基準価額比率 (%)	0.88	0.82	0.84	0.82	0.81	0.78
当期の収益 (円)	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,272	1,287	1,295	1,306	1,314	1,322

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 31.12円	✓ 34.82円	✓ 27.75円	✓ 30.51円	✓ 28.29円	✓ 28.21円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,029.80	1,030.18	1,030.59	1,031.01	1,031.43	1,031.82
(d) 分配準備積立金	232.00	242.74	257.16	264.49	274.59	282.49
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,292.92	1,307.75	1,315.50	1,326.02	1,334.32	1,342.53
(f) 分配金	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,272.92	1,287.75	1,295.50	1,306.02	1,314.32	1,322.53

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を活用して、ブラジル・リアルで実質的な運用を行います。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



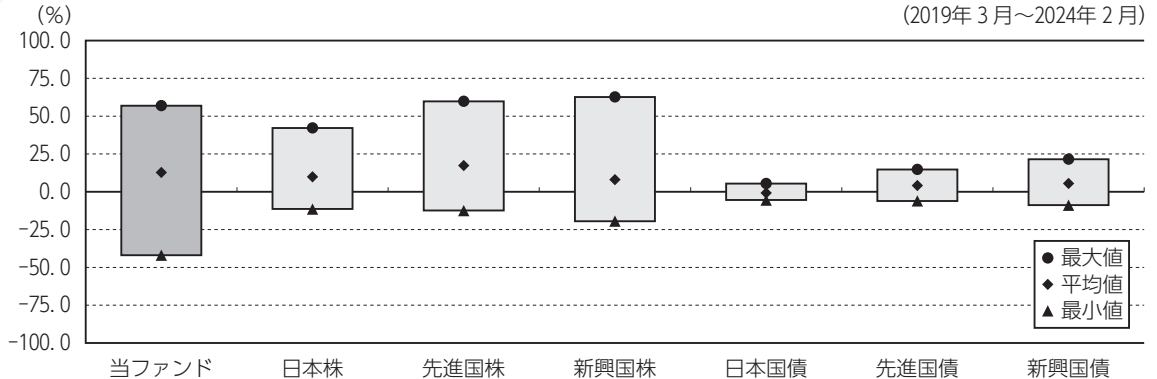
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年9月22日～2026年9月7日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」（以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）は、SPDJI、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.9	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
平均値	12.8	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6
最小値	△ 42.0	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



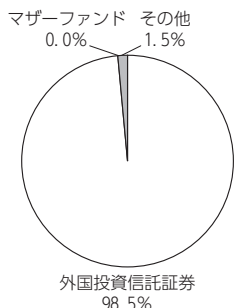
## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

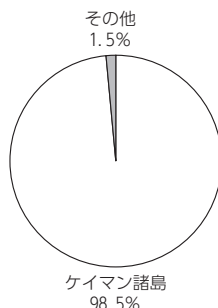
#### 組入ファンド等

	比率
クロッキーUSストラテジー・ファンド（ブラジル・リアル・クラス）	98.5%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	1.5

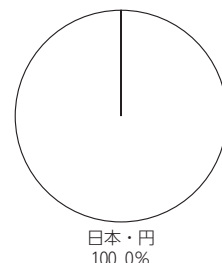
#### 資産別配分



#### 国別配分



#### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年3月7日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

### 純資産等

項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2023年10月10日	2023年11月7日	2023年12月7日	2024年1月9日	2024年2月7日	2024年3月7日
純資産総額	13,879,221,860円	14,654,733,684円	14,057,330,650円	14,228,572,157円	14,253,343,922円	14,370,163,742円
受益権総口数	61,409,145,499口	60,864,735,158口	59,864,943,271口	58,887,798,673口	57,949,986,347口	56,603,874,277口
1万口当り基準価額	2,260円	2,408円	2,348円	2,416円	2,460円	2,539円

\*当作成期間（第144期～第149期）中における追加設定元本額は557,821,419円、同解約元本額は5,692,200,613円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。



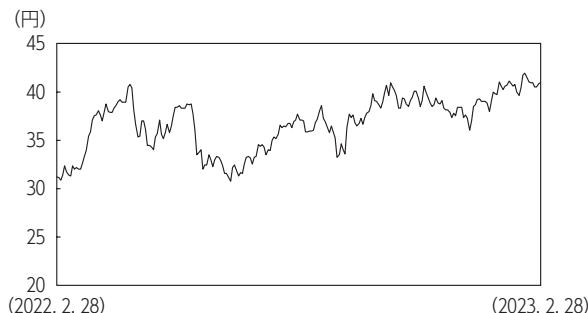
## 組入上位ファンドの概要

### ◆クロッキーUSストラテジー・ファンド (ブラジル・リアル・クラス)

(作成対象期間 2022年3月1日～2023年2月28日)

※最近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当りの費用の明細

当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■実質組入上位銘柄

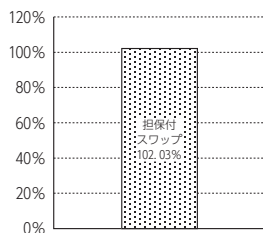
銘柄名	通貨	比率
VALERO ENERGY CORP	米ドル	2.6%
PHILLIPS 66	米ドル	2.6
MARATHON PETROLEUM CORP	米ドル	2.6
DEVON ENERGY CORP	米ドル	2.6
ABBVIE INC	米ドル	2.6
CONOCOPHILLIPS	米ドル	2.6
REGENERON PHARMACEUTICALS	米ドル	2.6
ONEOK INC	米ドル	2.6
CHEVRON CORP	米ドル	2.5
MERCK & CO. INC.	米ドル	2.5
組入銘柄数		40銘柄

(注1) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

(注2) 比率は株式のポートフォリオに対する比率です。

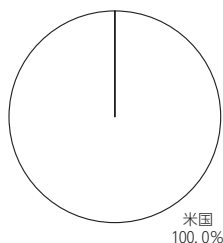
(注3) 上記データは2023年2月28日の前営業日時点のものです。

#### ■資産別配分



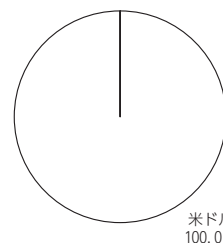
(注1) 比率は純資産に対する比率です。  
(注2) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

#### ■国別配分



(注) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米国株式であることを意味しております。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米ドル建てであることを意味しております。  
(注2) ファンドの保有資産に対して、米ドル売り/ブラジル・リアル買いの為替取引を行っています。

\*資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書(全体版)の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド (作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

14ページをご参照ください。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) —トリプルリターンズ— 米ドル・コース (毎月分配型)

&lt;3837&gt;

追加型投信／海外／株式  
日経新聞掲載名：米国株α米

第144期	2023年10月10日決算	第147期	2024年1月9日決算
第145期	2023年11月7日決算	第148期	2024年2月7日決算
第146期	2023年12月7日決算	第149期	2024年3月7日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第149期末	基準価額	7,547円
	純資産総額	2,687百万円
第144期～第149期	騰落率	7.6%
	分配金合計	240円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

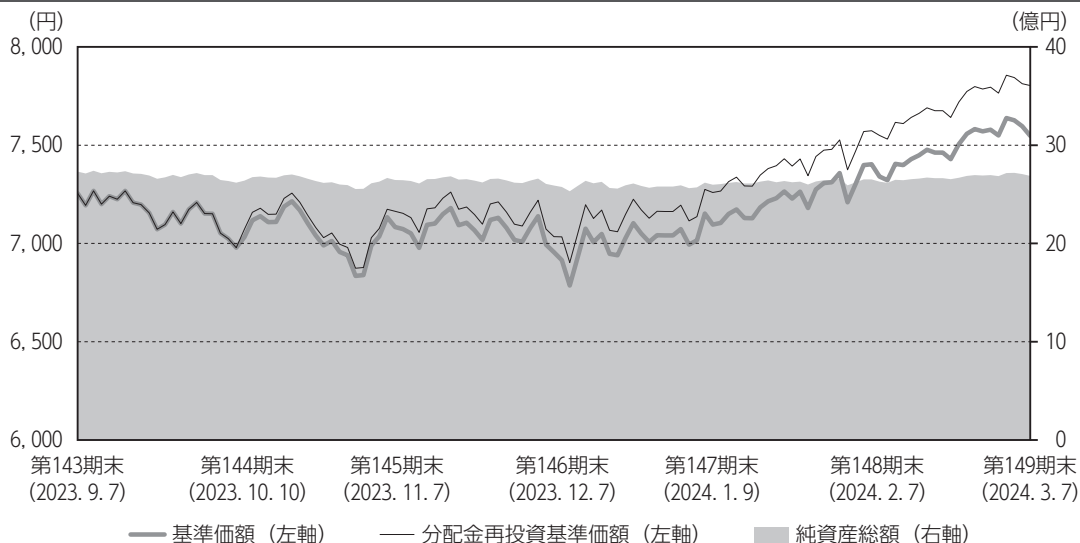
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第144期首：7,255円

第149期末：7,547円（既払分配金240円）

騰落率：7.6%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」については、米国株式市況の上昇や米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）：オージェンタム・トラストークローキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第144期～第149期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0. 668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は7, 173円です。</b>
（投 信 会 社）	(16)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(31)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	48	0. 672	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

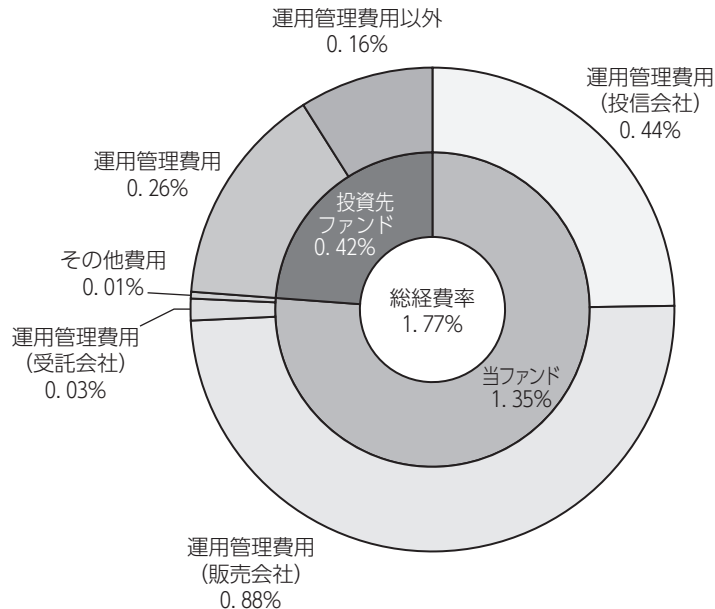
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.77%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.77%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.26%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

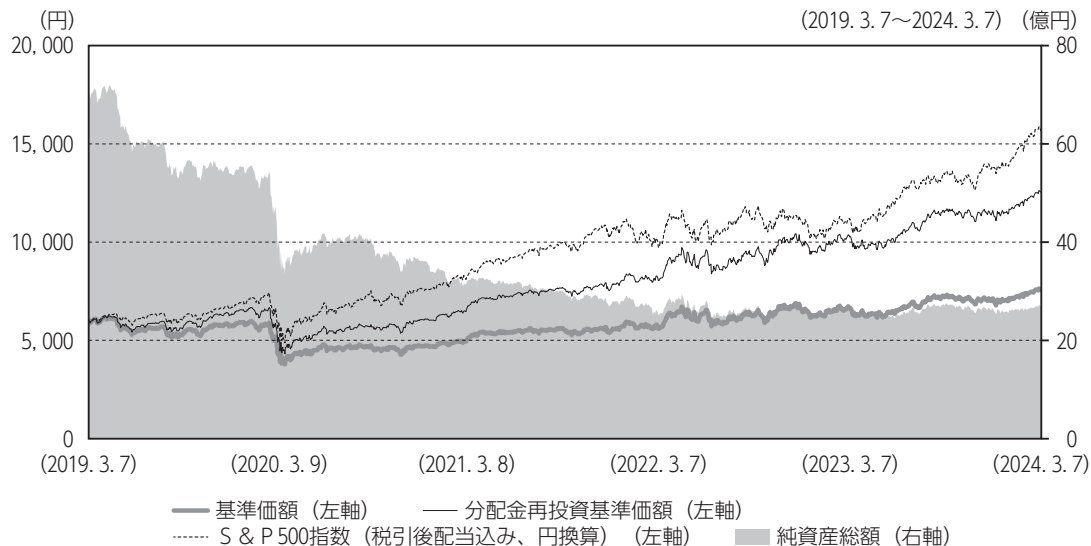
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年3月7日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は S & P 500 指数（税引後配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年3月7日 期初	2020年3月9日 決算日	2021年3月8日 決算日	2022年3月7日 決算日	2023年3月7日 決算日	2024年3月7日 決算日
基準価額 (円)	6,003	4,797	5,040	5,686	6,670	7,547
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	750	660	480	480	480
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△8.7	21.2	23.0	26.5	21.3
S & P 500 指数 (税引後配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	△0.7	39.0	20.8	12.0	39.6
純資産総額 (百万円)	7,055	4,316	3,183	2,558	2,651	2,687

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■ 為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、上昇しました。しかし2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を背景に、米ドルは対円で下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安米ドル高に転じ、当作成期末にかけても、日銀副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどを受け、円安米ドル高基調となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2023. 9. 8～2024. 3. 7）

### 当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

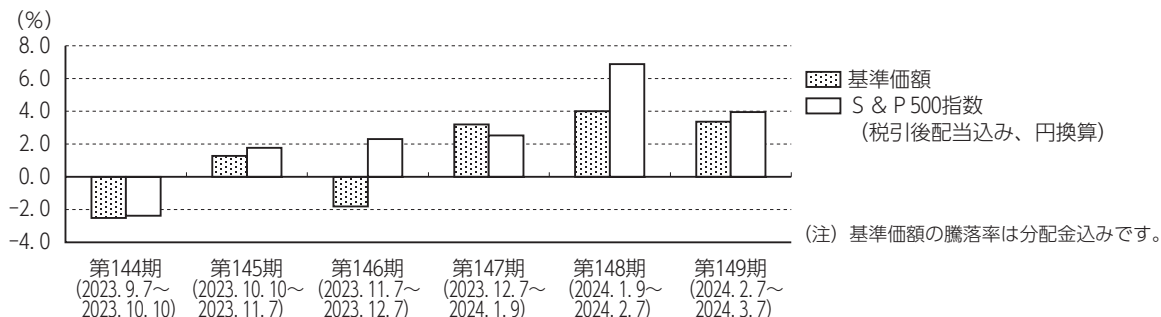
### ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。





## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	40	40	40	40	40	40
対基準価額比率 (%)	0.57	0.56	0.58	0.56	0.54	0.53
当期の収益 (円)	40	40	40	40	40	40
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,458	1,473	1,486	1,507	1,530	1,737

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に一致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 55.03円	✓ 55.48円	✓ 52.59円	✓ 61.70円	✓ 55.62円	✓ 59.07円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	7.08	187.11
(c) 収益調整金	742.79	743.98	746.05	747.25	748.93	752.58
(d) 分配準備積立金	700.31	714.18	727.60	739.00	759.03	778.24
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,498.15	1,513.65	1,526.25	1,547.96	1,570.66	1,777.02
(f) 分配金	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,458.15	1,473.65	1,486.25	1,507.96	1,530.66	1,737.02

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄とまらない場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



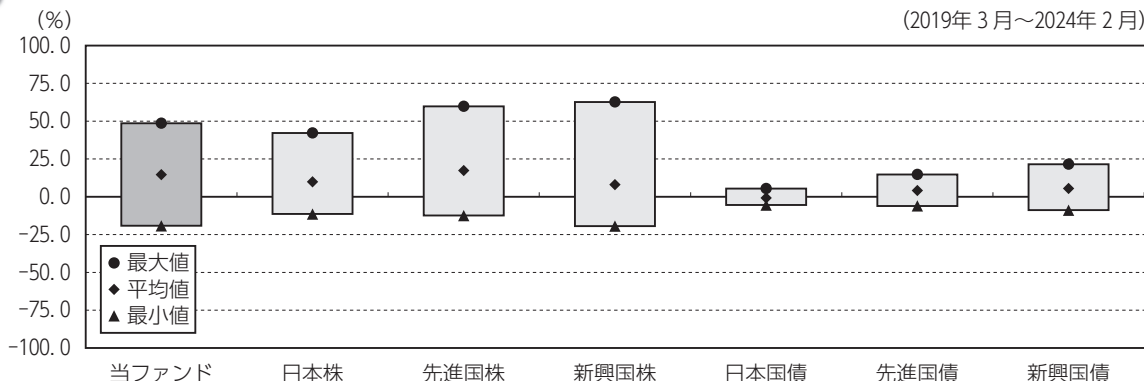
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年9月22日～2026年9月7日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「オージェンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」（以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行いません。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 米ドル・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	48.5	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
平均値	14.6	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6
最小値	△ 19.2	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



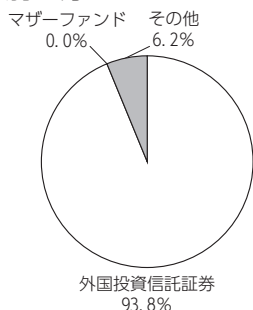
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

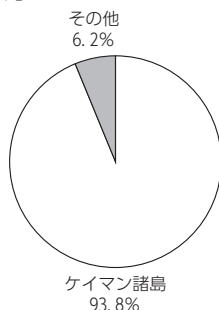
### 組入ファンド等

	比率
クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）	93.8%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	6.2

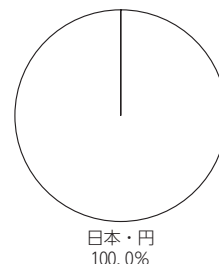
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年3月7日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項 目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2023年10月10日	2023年11月7日	2023年12月7日	2024年1月9日	2024年2月7日	2024年3月7日
純資産総額	2,639,257,998円	2,646,486,202円	2,574,683,549円	2,598,442,205円	2,627,840,192円	2,687,608,866円
受益権総口数	3,752,624,268口	3,736,435,015口	3,723,529,621口	3,661,647,529口	3,580,302,133口	3,561,278,947口
1万口当り基準価額	7,033円	7,083円	6,915円	7,096円	7,340円	7,547円

\*当作成期間（第144期～第149期）中における追加設定元本額は63,136,230円、同解約元本額は265,903,267円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

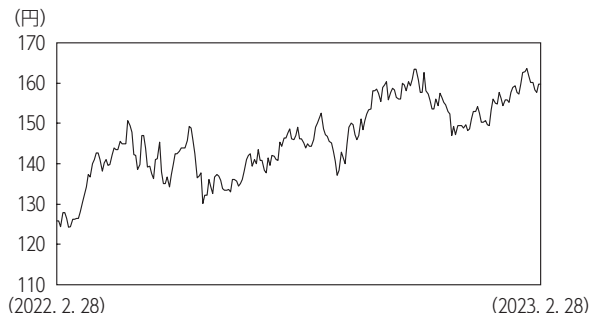
## 組入上位ファンドの概要

### ◆クロッキーUSストラテジー・ファンド（米ドル・クラス）

（作成対象期間 2022年3月1日～2023年2月28日）

※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当りの費用の明細

当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■実質組入上位銘柄

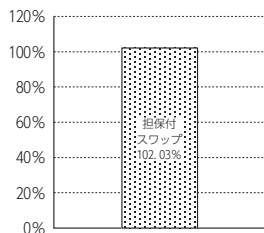
銘柄名	通貨	比率
VALERO ENERGY CORP	米ドル	2.6%
PHILLIPS 66	米ドル	2.6
MARATHON PETROLEUM CORP	米ドル	2.6
DEVON ENERGY CORP	米ドル	2.6
ABBVIE INC	米ドル	2.6
CONOCOPHILLIPS	米ドル	2.6
REGENERON PHARMACEUTICALS	米ドル	2.6
ONEOK INC	米ドル	2.6
CHEVRON CORP	米ドル	2.5
MERCK & CO. INC.	米ドル	2.5
組入銘柄数		40銘柄

(注1) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

(注2) 比率は株式のポートフォリオに対する比率です。

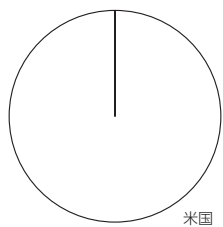
(注3) 上記データは2023年2月28日の前営業日時点のものです。

#### ■資産別配分



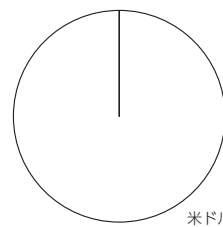
(注1) 比率は純資産に対する比率です。  
(注2) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

#### ■国別配分



(注) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米国株式であることを意味しております。

#### ■通貨別配分



(注) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米ドル建てであることを意味しております。

\* 資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

14ページをご参照ください。

# ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) ートリプルリターンズー 通貨セレクト・コース (毎月分配型)

&lt;5763&gt;

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：米国株α通セ

第124期	2023年10月10日決算	第127期	2024年1月9日決算
第125期	2023年11月7日決算	第128期	2024年2月7日決算
第126期	2023年12月7日決算	第129期	2024年3月7日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第129期末	基準価額	3,421円
	純資産総額	154百万円
第124期～第129期	騰落率	9.8%
	分配金合計	180円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

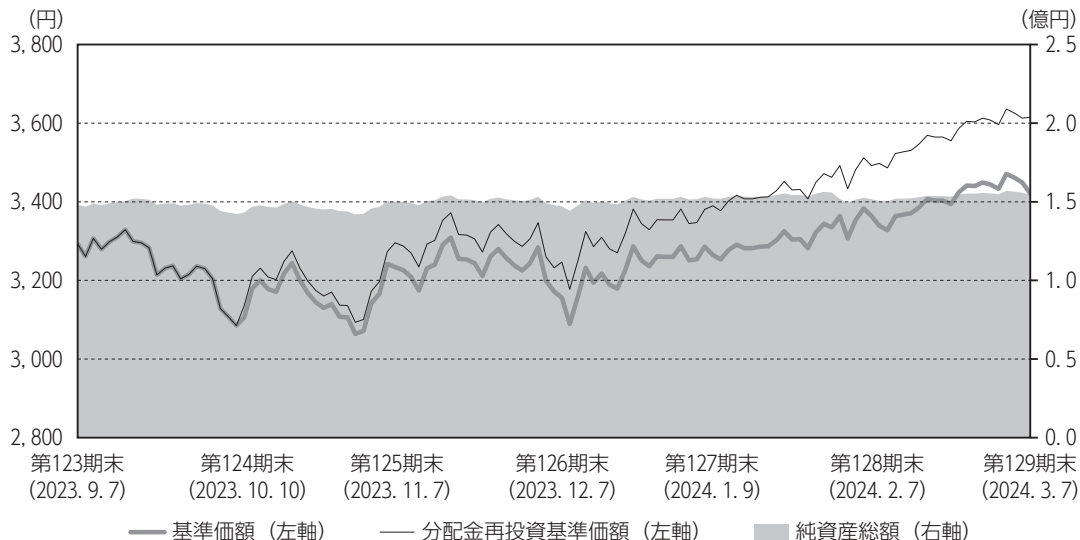
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第124期首：3,293円

第129期末：3,421円（既払分配金180円）

騰落率：9.8%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

投資した「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」については、米国株式市況の上昇や選定通貨が対円でおおむね上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラス要因となりました。しかし、オプション取引戦略はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）：オージェンタム・トラスト  
トクロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第124期～第129期 (2023. 9. 8～2024. 3. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	22円	0. 668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は3, 265円です。</b>
（投 信 会 社）	(7)	(0. 218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(14)	(0. 437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	22	0. 671	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

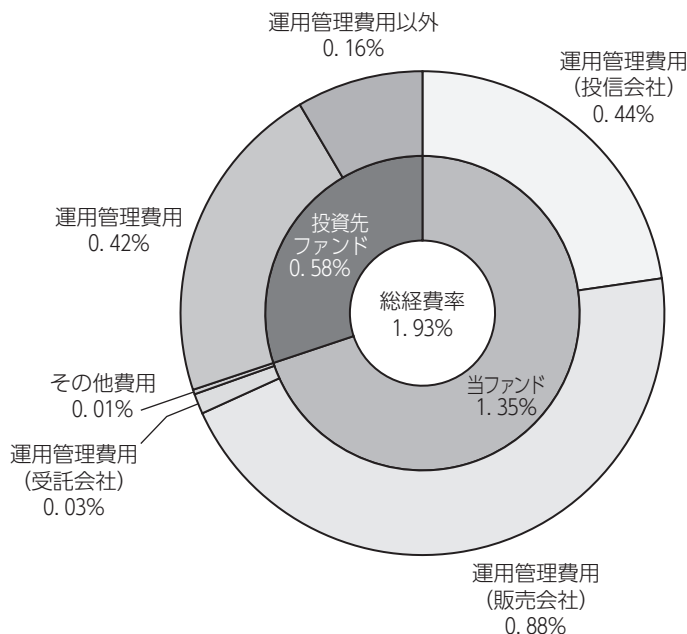
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.93%
①当ファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.42%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドの費用には、担保付スワップに係る費用を含みません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

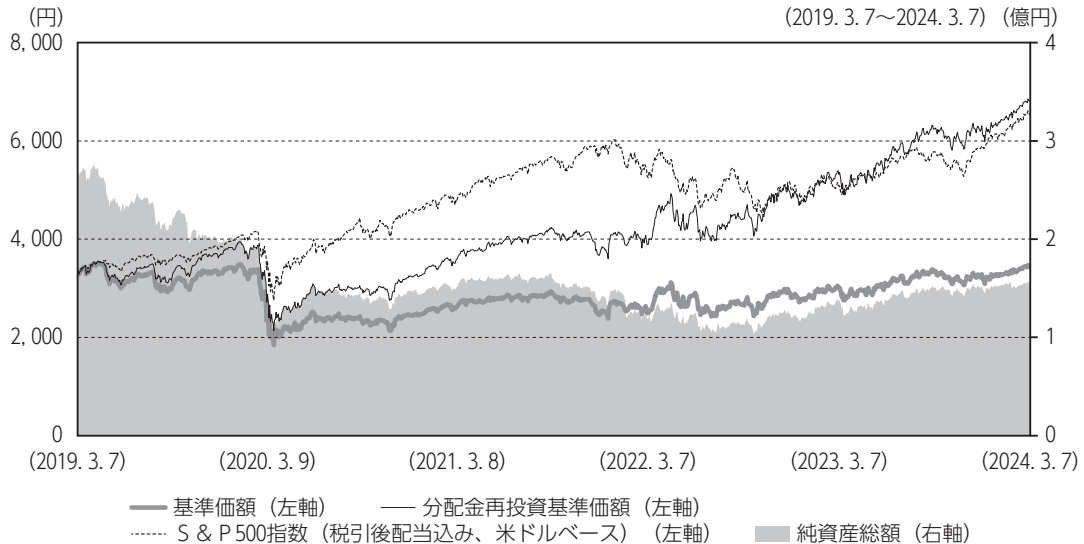
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年3月7日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 参考指数は S & P 500 指数（税引後配当込み、米ドルベース）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2019年3月7日 期初	2020年3月9日 決算日	2021年3月8日 決算日	2022年3月7日 決算日	2023年3月7日 決算日	2024年3月7日 決算日
基準価額 (円)	3,363	2,671	2,603	2,549	3,033	3,421
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	480	390	360	360	360
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△7.7	14.8	11.8	35.4	26.3
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	8.7	30.8	13.8	△5.4	27.5
純資産総額 (百万円)	269	152	149	121	138	154

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、同指数の原データをもとに大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 投資環境について

（2023. 9. 8～2024. 3. 7）

### ■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化などが嫌気され、2023年10月末まで下落しました。11月以降は、欧米のインフレ率が予想以上に鈍化し金利が低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことと述べたことを受けて利下げ観測が高まったこと、A I（人工知能）関連の半導体関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、急上昇して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

選定通貨（※）の対円為替相場は、おおむね上昇しました。

米国の金融引き締め観測の後退などを受けリスク選好姿勢が強まったことが新興国通貨への上昇圧力となり、メキシコ・ペソ、ブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、ハンガリー・フォリント、インド・ルピー、ポーランド・ズロチ、南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラ、チェコ・コルナは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

### ■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。一方、米国の短期金利は、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利であるF F レート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標を5.25～5.50%に据え置きました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、FTSE世界国債インデックスおよびJPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 9. 8 ~ 2024. 3. 7)

### ■当ファンド

当ファンドは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じて「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資しました。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

## ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からGICS（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄を選定しました。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等としました。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

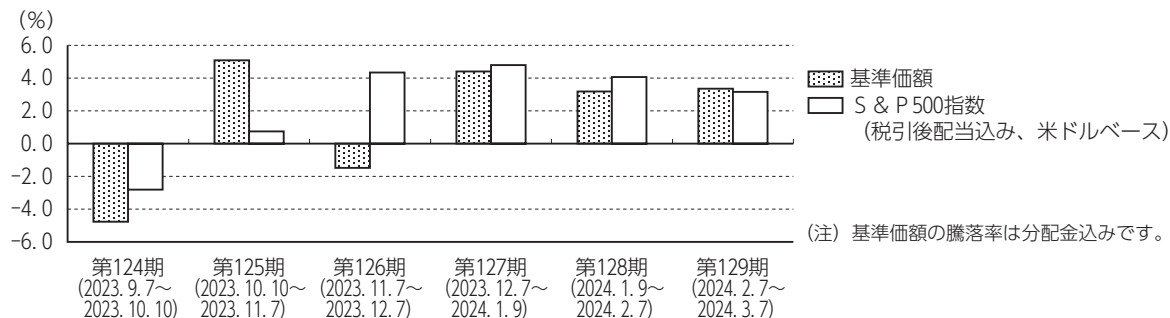
## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
	2023年9月8日 ～2023年10月10日	2023年10月11日 ～2023年11月7日	2023年11月8日 ～2023年12月7日	2023年12月8日 ～2024年1月9日	2024年1月10日 ～2024年2月7日	2024年2月8日 ～2024年3月7日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.96	0.92	0.94	0.91	0.89	0.87
当期の収益 (円)	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	707	728	749	778	813	846

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第124期	第125期	第126期	第127期	第128期	第129期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 41.33円	✓ 50.58円	✓ 50.96円	✓ 58.72円	✓ 65.25円	✓ 63.02円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	435.51	437.42	439.21	440.07	441.60	443.62
(d) 分配準備積立金	260.92	270.40	289.24	309.37	336.60	370.03
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	737.76	758.40	779.42	808.18	843.46	876.68
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	707.76	728.40	749.42	778.18	813.46	846.68

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

引き続き、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」に投資します。また、「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

S & P 500種株価指数構成銘柄の時価総額上位半数程度の銘柄からG I C S（世界産業分類基準）の金融セクターに属する銘柄を除いた銘柄を投資対象銘柄とし、「クロッキーモデル」を用いて会計データを重点分析し、割安と判断される40銘柄（※）を選定します。選定時における各銘柄の構成比率はおおむね均等とします。個別銘柄ごとに、当該株式を原資産とするコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケットズ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

※当ファンドでは40銘柄を選定して運用していますが、銘柄の見直しに伴い、一時的に40銘柄と異なる場合があります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。





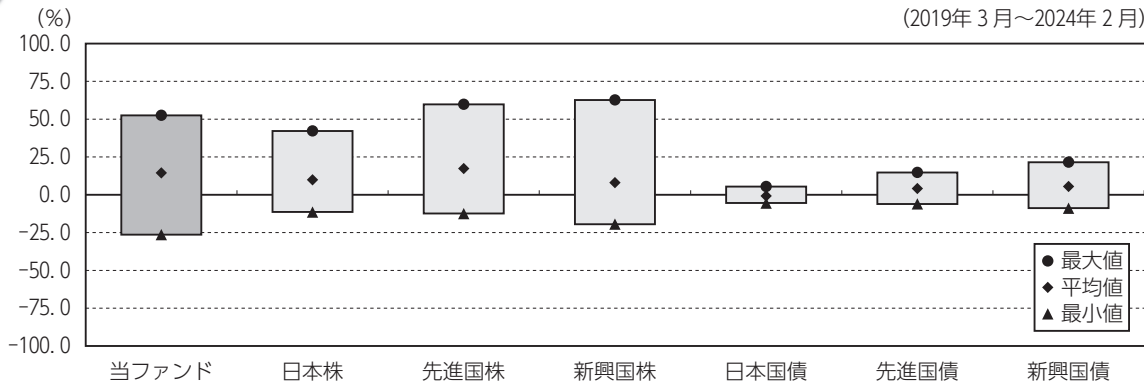
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年5月31日～2026年9月7日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	①ケイマン籍の外国投資信託「オーゼンタム・トラスト・クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」（以下「クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ②ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
当ファンドの運用方法	①主として、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の受益証券を通じて、割安と判断される米国の株式とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、米ドル建ての資産に対して為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨（※）買いの為替取引を行ないます。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）の通貨運用助言会社の助言に基づき決定した複数の通貨をいいます。	
マザーファンドの運用方法	①わが国の公社債を中心に安定運用を行ないます。 ②邦貨建資産の組み入れにあたっては、取得時に第二位（A－2格相当）以上の短期格付であり、かつ残存期間が1年未満の短期債、コマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P<sup>®</sup>、S & P 500<sup>®</sup>、US 500、The 500、iBoxx<sup>®</sup>、iTraxx<sup>®</sup> および CDX<sup>®</sup> は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones<sup>®</sup> は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－ 通貨セレクト・コース（毎月分配型）は、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.5	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
平均値	14.5	9.9	17.3	8.0	△ 0.7	4.1	5.6
最小値	△ 26.4	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



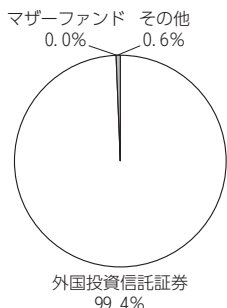
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

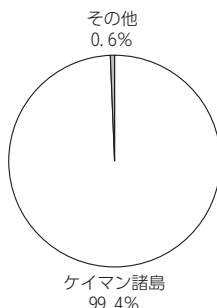
### 組入ファンド等

	比率
クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）	99.4%
ダイワ・マネー・マザーファンド	0.0
その他	0.6

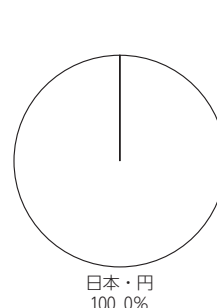
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2024年3月7日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

※当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

項目	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末	第128期末	第129期末
	2023年10月10日	2023年11月7日	2023年12月7日	2024年1月9日	2024年2月7日	2024年3月7日
純資産総額	143,146,656円	149,999,479円	147,079,282円	152,182,433円	150,492,553円	154,481,326円
受益権総口数	460,840,461口	463,761,924口	466,098,877口	466,044,535口	450,774,704口	451,550,639口
1万口当り基準価額	3,106円	3,234円	3,156円	3,265円	3,339円	3,421円

\* 当作成期間（第124期～第129期）中における追加設定元本額は22,765,671円、同解約元本額は20,931,900円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

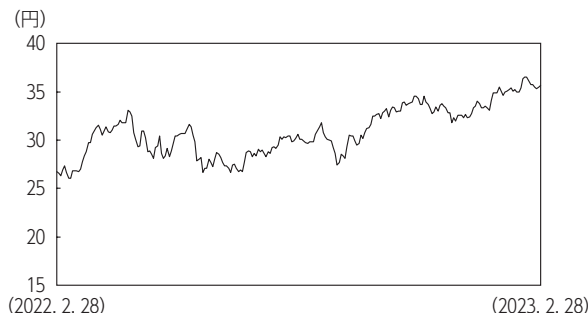
## 組入上位ファンドの概要

### ◆クロッキーUSストラテジー・ファンド（通貨セレクト・クラス）

（作成対象期間 2022年3月1日～2023年2月28日）

※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当り評価額の推移



(注1) 1口当り評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。  
(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当りの費用の明細

当ファンドの単位口数当りの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■実質組入上位銘柄

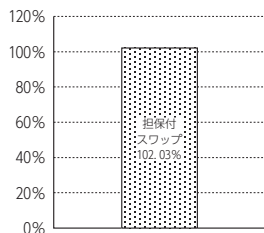
銘柄名	通貨	比率
VALERO ENERGY CORP	米ドル	2.6%
PHILLIPS 66	米ドル	2.6
MARATHON PETROLEUM CORP	米ドル	2.6
DEVON ENERGY CORP	米ドル	2.6
ABBVIE INC	米ドル	2.6
CONOCOPHILLIPS	米ドル	2.6
REGENERON PHARMACEUTICALS	米ドル	2.6
ONEOK INC	米ドル	2.6
CHEVRON CORP	米ドル	2.5
MERCK & CO. INC.	米ドル	2.5
組入銘柄数		40銘柄

(注1) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

(注2) 比率は株式のポートフォリオに対する比率です。

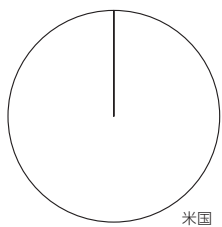
(注3) 上記データは2023年2月28日の前営業日時点のものです。

#### ■資産別配分



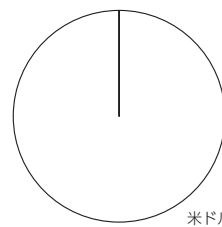
(注1) 比率は純資産に対する比率です。  
(注2) 担保付スワップへの投資を通じて、米国の株式への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築しています。

#### ■国別配分



(注) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米国株式であることを意味しております。

#### ■通貨別配分



(注1) 比率は担保付スワップへの投資の株式部分が米ドル建てであることを意味しております。  
(注2) ファンドの保有資産に対して、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を行っています。

\* 資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\* 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「クロッキーUSストラテジー・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### ◆ダイワ・マネー・マザーファンド（作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日）

14ページをご参照ください。